

BLU から PJLINK コマンドを送信する方法

BLU の Logic オブジェクト「Ethernet Trigger / Table」から PJLINK コマンドを送信し、プロジェクターやディスプレイの電源投入や映像入力の切替えなどを行うことができます。

BLU は仕様により、コマンドを送信した後、制御機器からの応答を受け取ったり、表示することは出来ないことに注意してください。

PJLink - ビジネス機械・情報システム産業協会

<http://pjlink.jbmia.or.jp/>

注意

PJLINK を使う場合、パスワード認証を BLU で行うことが出来ません。

機器により初期設定ではパスワードが設定されています。

ディスプレイやプロジェクターのマニュアルをご確認して頂き、

PJLINK のパスワードを無し（認証無し）に設定してください。

Ethernet Trigger / Table

The screenshot displays the configuration of an 'Ethernet Trigger / Table' object (L2) connected to a 'Logic Source' (L1). The Logic Source is labeled '1' and the Ethernet Trigger / Table is labeled '2'. The Ethernet Trigger / Table has a 'Connect' button labeled '1' and a 'Connected' button labeled '2'. Below the main interface is a 'Properties' panel with the following settings:

Properties		Properties	
Show Type	✓	Show Name	✓
Address	2	Name	L2
HiQnet Address	10.2.2	Type	Ethernet Trigger/Table
Number of Inputs	1	Mode of Operation	Table
Ethernet Table	Click to edit Ethernet Table/Trigger...	IP Address	192.168.0.8
Port	4352	Type	TCP

IP Address・・・プロジェクターやディスプレイの IP アドレス

Port・・・4352（PJLINK で使われるポート番号）

Type・・・TCP（PJLINK で使われるプロトコル）

PJLINK コマンドの記入例

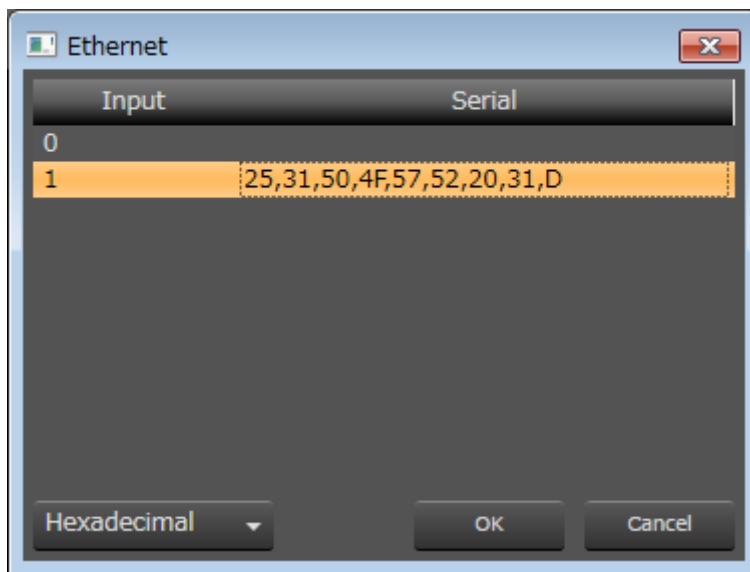
(例) 電源 ON

16 進数・・・25 31 50 4f 57 52 20 31 0d

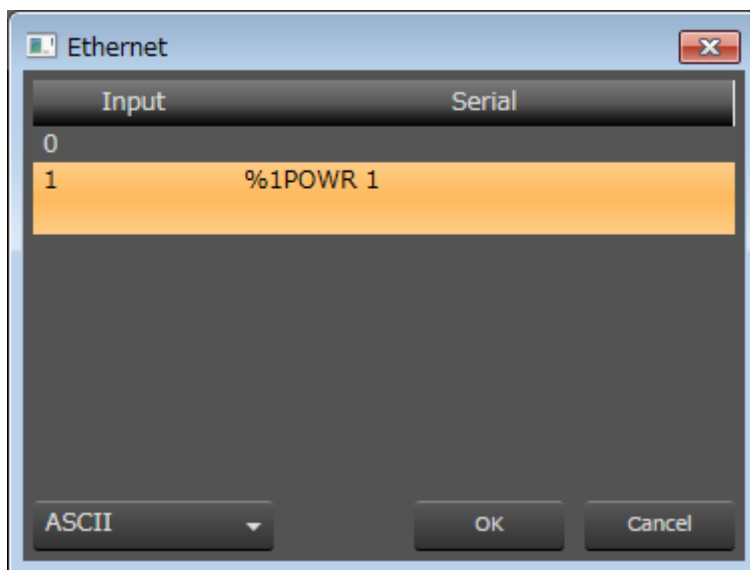
ASCII・・・%1POWR 1 (CR)

*末尾には (0d)=(CR) キャリッジリターンが必要です。

Hexadecimal (16 進数) の場合

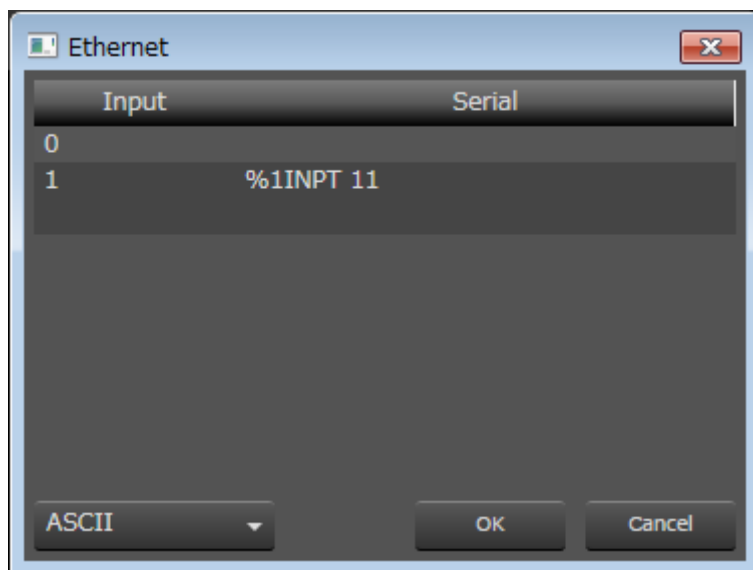


ASCII の場合



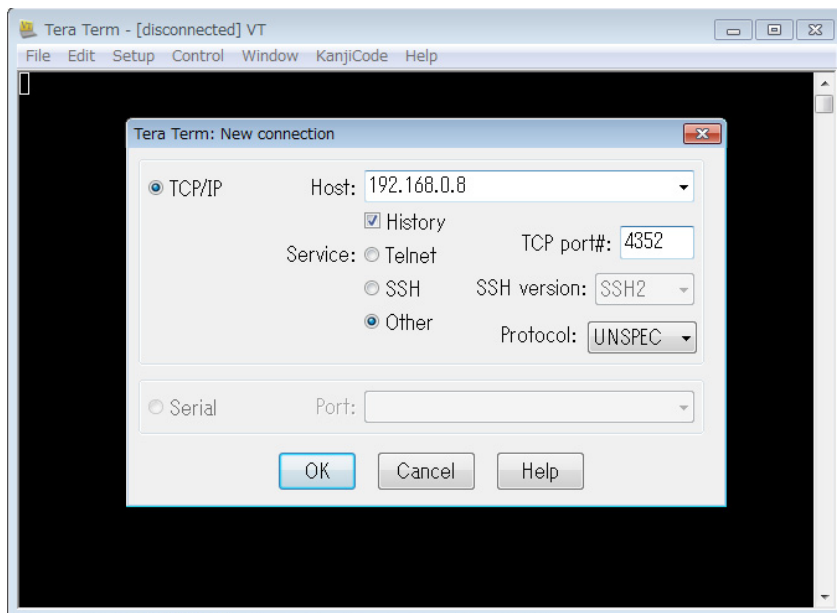
ASCII で入力した場合、キャリッジリターンを入力することが出来ないため、ASCII コマンドを入力した後、Hexadecimal (16 進数) 標記にし、「0d」と入力してください。

入力を切り替えたい場合は「%1INPUT 番号」



*番号はプロジェクターやディスプレイによって変わります。

機器の PJLINK にパスワードがかかっているかどうかを調べるには、
「Teraterm」や「Putty」などのネットワークソフトウェアを使います。

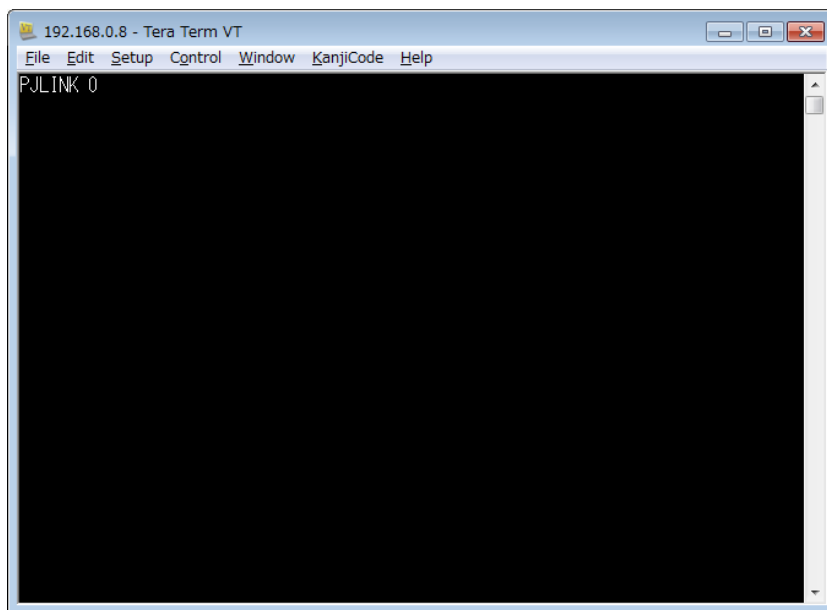


Host・・・確認したい機器の IP アドレス

Other を選択し、TCP port# 「4352」

パスワードがかかってない場合

PJLINK 0 と帰ってきます



パスワードがかかっている場合

「PJLINK 1 *****」と帰ってきます

